

SUPER GT ROUND1

たかのこのホテル OKAYAMA GT300 km RACE

京都校・愛知校担当



©ベストカー

この活動は多くのスポンサー様によって支えられています



4月10日 予選 天気：晴

路面状態 ドライ 気温：14°C

午後2時、藤波選手が担当で予選Q1がスタート。

5週目で1“26.093をマークし、予選Q1を4位で予選Q2に進出しました。

予選Q2ではオリベira選手に変わり、4週目で1“25.643をマークし

最終結果は4位でした。決勝は4番手でのスタートポジションを獲得しました。

4月11日 決勝 天気：晴

路面状態 ドライ 気温：19°C

午後1時35分、決勝がスタート。

4番手でのスタートだった56号車は、レース開始後3位に浮上しました。レース中盤、他車のアクシデントによりセーフティカーが導入され一気に全車ピットインしピットロードが渋滞しました。しかしチームメカニックの方々が迅速な対応により、1位に浮上しました。その後オリベira選手の後続を抑えながらの攻めた走りで2位に0.4秒差をつけ見事開幕戦優勝を果たしました。

NISSAN REALIZE GROUP YOKOHAMA UD TRUCKS Logisnext PITWORK F-Premium 日産車体 AUTECH Quick Pro Paint
ROCK PAINT PREMIER Assist 株式会社ゼロ ANA 5 YEARS COAT Premium NGK NTK KENWOOD raffinée MAL TOOLS DëFF KMMOTO
LSI ES.18 GTI LS KSB ovex energiepartners L'ACURE SUNTORY pepsi puma EBBRO 福島日産 日産プリンス栃木 埼玉日産
日産プリンス埼玉 日産プリンス東京 神奈川日産 日産プリンス神奈川 岐阜日産 愛知日産 日産プリンス名古屋 滋賀日産 京都日産
日産大阪 日産プリンス秋田 松本日産 千葉日産 日産自動車販売 浜松日産 日産プリンス静岡 福岡日産 日産サテリオ佐賀 日産プリンス長崎
日産サテリオ弘前 日産プリンス宮城 日産サテリオ湘南 三重日産 日産プリンス三重 兵庫日産 和歌山日産 日産サテリオ岡山 Kovo

学長インタビュー

日産自動車大学校 本廣学長

本当は多くの学生にやってもらいたかった

新型コロナウイルスの影響で制限された中で活動だったがそれに負けないぐらいみんな頑張った。

ドライバーサポート、ピットマネージャー、ホスピタリティがお互いにあった事を話し合ってもらいたい。

レースの世界を味わうことができる

友達と一緒にこの活動を体験して仲間を増やしてほしい。小さなチャレンジでもいいのでみんなにもやってもらいたい。そして別の世界を体験してほしい。



校長インタビュー

日産自動車大学校 京都校 田中校長

やっぱり学生たちには色々な事を体験してもらいたい

本当は、テクニカル領域、ホスピタリティ領域、広報領域の三つがあって成立するプログラムだが、新型コロナウイルスの影響でイレギュラーになってしまった。

特にテクニカル領域は KONDO RACING のメカニック、販売会社の T/S との色々な人達との交流があり一生に一度の経験なのでこの領域は必要だと思う。

全員意識が高い

今回京都校と愛知校との合同での活動だったが、お互い初対面なのにも関わらず全然そんな感じがしない。すごくいいチームワークができて、みんな前向きな動きもいいからいいなと思った。



学生インタビュー



京都校統括 前田 純耶

自分の中でベストを尽くして成功させようとの思いで挑みました

ある程度の事を想定しながら挑んだが、現地に行ってその場で対応しなければならなかったので冷静に課題を処理していく事の大切さを学びました。想定だけでは対応できない事は目に見えているし、その中で落ち着いてこなしていきたいです。



愛知校統括 久保川 将裕

GT活動は一回しか参加した事がないので経験が浅く不安でした

適切な指示を出せるように視野を広げていろんなことを学習しました。急な予定変更でもその場ですぐに対応できるか、的確にスタッフに指示を出してイレギュラーを乗り越えられるかが大事になる。気を引き締めてみんなが成長できる活動にするように心掛けました。

京都校ピットマネージャー 後藤 良輝

一生懸命頑張ろうという思いで務めました

自分から仕事を見つけて行動する積極性と愛知校、チーム、販売会社のT/Sと協力し作業することで協調性の大切さを学びました。

この経験をこれから求められる主体性を成長させるように生かしていきたいです。



販売会社インタビュー

滋賀日産自動車株式会社 安本 誠司さん

このプロジェクトはいいイメージだと思っており、日ごろの整備の延長線で一つの整備の意識が体験できとても役に立つと思っています。

プロ意識、仕事の仕方をもう一度見直すことができる、そして今後の成長に生かせると期待しています。



滋賀日産自動車株式会社 参加 T/S 松本 和さん

僕が学生の時に一度参加させていただきました。

その時は全く車の事や作業を知らない状態でしたが、それでも多くの事を学ぶ事が出来ました。

次は実際に販売店で働いてみた後に参加する事でまた違った点や経験ができると思い参加しました。



ホスピタリティエリアでの活動



今回は京都校と愛知校の共同で活動しました。

初対面にも関わらず、しっかりコミュニケーションを取り、良いチームワークで4日間頑張っていました。昨年に引き続き新型コロナウイルスの影響で、限られた活動しかできませんでしたが、今回テクニカル領域での活動も再開され本来の活動に戻っていると感じました。

リーダーを中心に「どのようにおもてなしをしたらお客様に喜んでもらえるか」意見を出し合い、この活動は色々な人に支えられて出来ている事を意識して動いていました。

またこの活動に参加した学生は「僕がやった事をクラスみんなに伝えたい。」と喜んで話してくれました。



活動を振り返って

昨年に引き続き、新型コロナウイルスの影響で厳しい活動でしたが、この状況下の活動でも得るものが多い活動でした。

その中で今年から新たな試みで「NISSAN MECHANIC CHALLENGE Live」配信をYouTubeにて実施されました。

先輩方の活動を見ていたとはいえ、実際にやってみるとなかなかうまくいかない事が多かったですが、日を重ねるごとに対応できるようになりとても多くの事が学べる事がありました。

また決勝レースで学生達は、56号車に優勝して欲しいと願っていました。

そして優勝したときみんなの思いがピットに届いた瞬間だと思っています。

この活動は普段とは全く別の世界を経験し、お互いに仲間を支え合い、自分達で何ができるかを考えることができる機会です、学ぶことが多く、将来に生かせるとても貴重な活動だと思いました。そして、支えて下さったスポンサー様、先生方、サポートして頂きありがとうございます。

しかし、昨年に続き新型コロナウイルスの影響で今後限られた活動になってしまうかもしれないですが、学生一同全力を尽くして活動していきますので応援よろしくをお願いします。

©ベストカー

お写真の一部はベストカー様からご提供いただきました。

ありがとうございます。

作成

3年 原 秀虎

2年 淵上 秦知

